

懇話会の主な意見について

分類	意見
コンセプト等	<ul style="list-style-type: none"> ・機能を詰め込み過ぎない、特徴や説得力のある役割が必要 ・青葉山公園の課題からの視点、既存の資源の魅力を向上させる視点が必要 ・青葉山公園が公園としてしっかり認識される ・青葉山全体をもっと活用するための提案ができる ・青葉山周辺の他の施設との連携や役割を分担 ・公園内アクセスの中心、公園利用の拠点として、周辺施設ではできない機能を発揮する ・公園センターに来て、公園や仙台城跡を楽しむためのエントランス・出発点とする ・国際センター駅周辺エリアの施設や自然資源をつなぐ役割が必要 ・周辺施設の連携の核となる（合同イベントの開催等） ・広瀬川も青葉山公園の一部である ・仙台城跡と広瀬川が主役である ・気軽に利用できるオープンな施設とする ・単なる観光案内所にならないよう工夫する 「情報を得る」＋「体験」など ・藩政時代だけではなく、様々な時代の歴史にも目を向ける ・教育旅行の拠点 ・市民に理解されやすい名称が必要である。
情報発信機能	<ul style="list-style-type: none"> ・青葉山の全容が理解できるこの場所ならではの情報案内 ・青葉山の成り立ちやダイナミックな地形等が体感できる（自然の散策や市民活動につなげる） ・地形等自然的要素をどのように利用して仙台城ができたかを理解できる ・仙台を知るきっかけとなる、概略や基礎知識が得られる ・ガイドによる新たな魅力発見 ・片倉小十郎屋敷の遺構についての情報に工夫が必要
飲食・休憩機能	<ul style="list-style-type: none"> ・地元飲食事業者の参画で、仙台ならではの特徴がある施設となる ・公園センター予定地からは、広瀬川が見えない 広瀬川が感じられるような工夫が必要 ・インバウンドの視点で、「桜の小径」や「庭」に、シンボルとなるような花など四季を感じられるような植栽をする ・伊達家江戸上屋敷の石材を有効に活用する
体験・交流機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとの連携は重要である（ユーザーでもあり、サービス提供者でもある） ボランティアによる様々なサービスやプログラムを提供する ボランティアの活動を支援する機能を持たせる ・外国からの賓客を迎える仙台らしいおもてなしの場とする ・青葉山全体（石垣、道のつくられ方等）をユニークベニューの場ととらえ、応用が効き利用しやすい施設とする ・地元産木材でつくったデザインの良いテーブルと椅子があればイベントの幅も広がる ・健康という視点で、来訪者が地域の方たちと一緒に活動・体験できる場とする（ヨガなど） ・ランニングやトレッキングなどの拠点とする

<p>運 営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早朝と夜間も利用できる ・ ボランティアとの連携は重要である（ユーザーでもあり、サービス提供者でもある）[再] ボランティアによる様々なサービスやプログラムを提供する ボランティアの活動を支援する機能を持たせる ・ 地元飲食事業者の参画で、仙台ならではの特徴がある施設となる[再]
----------------	--

分類	意見
<p>施設整備 (エリア全体像や建物等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財包蔵地として、遺構を保護する ・ 広瀬川の護岸石垣は仙台城の遺構として重要、護岸石垣を取り込み、一体的に整備する ・ 仙台城は山城であったので、歴史性を活かし、樹木のある景観を保護する ・ 追廻地区の変遷をふまえながら、現在の開けた空間を活用する ・ 仙台の来訪者へ「杜の都仙台」が伝わるような、屋敷林と建物を再現する ・ 仙台城跡と広瀬川など現存する歴史・自然資源を主役とする ・ 追廻地区全体の中で、空間を広くゆったり使ったゾーニングとする ・ 建物を川側に配置するなど、広瀬川を感じられるようにする ・ インバウンドを意識した「日本らしさ」及び「仙台らしさ」は、建物外観だけではなく内装や展示等でも表現する ・ 大橋をメインアプローチと考え、青葉山へ続く風景の連続性などを意識する ・ 大橋からの景観を重視して整備する ・ 大橋の橋詰としての広がり意識し、大橋と一体的な空間をデザインする ・ 周辺施設利用も含め、車両の渋滞が発生しないように対応が必要 ・ インバウンドの視点で、「桜の小径」や「庭」に、シンボルとなるような花など四季を感じられるような植栽をする[再] ・ 青葉山全体（石垣、道のつくられ方等）をユニークベニューの場ととらえ、応用が効き利用しやすい施設とする[再]
<p>設計</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良い建築はユニークベニューにもつながり、多くの人が集まる。 ・ 最適な設計者選定プロセスを設定し、オープンな形で進めると市民の期待が高まり、理解がされやすい ・ 具体的な仕様を設定するのではなく、設計者の想像が膨らむような仕様を設定する